

Specification By Exampleを用いた仕様共有による コンポーネント平行開発プロセス

キヤノン株式会社

小林智行

kobayashi.tomoyuki370@canon.co.jp

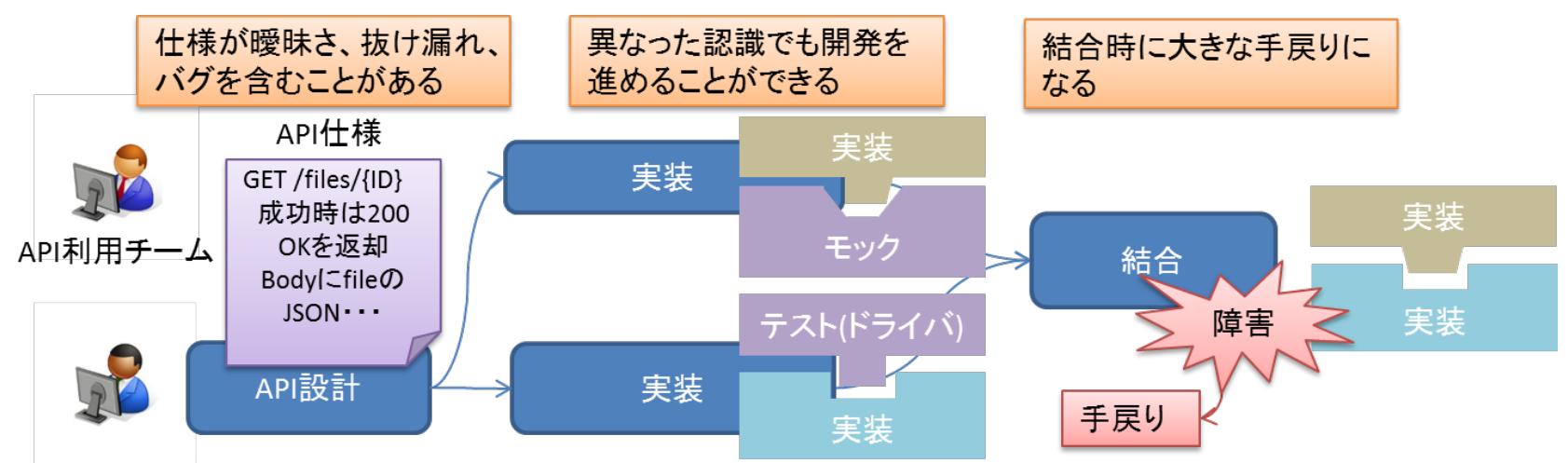
開発における問題点

従来のコンポーネント平行開発では、仕様書に記述される仕様の認識違いや、仕様記述漏れにより生じたバグが結合のフェーズで検出されるまでに時間がかかり、手戻りが大きかった。仕様記述に曖昧さが含まれると、誤解なく仕様を記述することは難しく、また、仕様が正しく実現されることを保証することが難しかった。

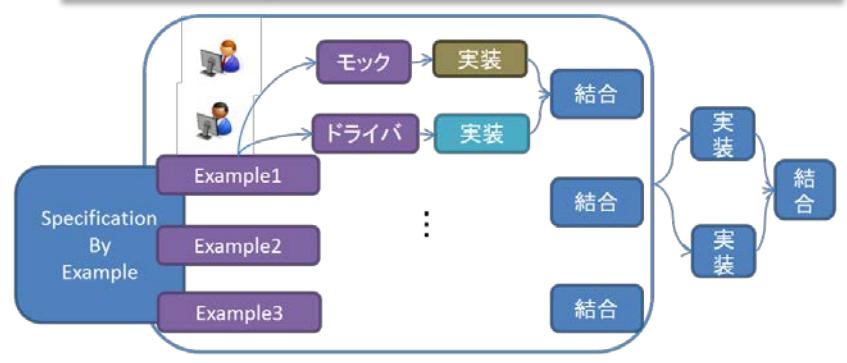
Exampleを利用した平行開発

Specification By Exampleは具体的な例示を用いてコラボレーションを促進する手法である。重要な仕様をExampleで誤解なく共有し、Example駆動で開発、結合を行うことで、主要な仕様を早期に動作可能になる。また、継続的インテグレーション(CI)、Tests as Documentation手法を利用し、Exampleを生きた仕様として担保する。

コンポーネント平行開発における課題



Exampleによる仕様共有



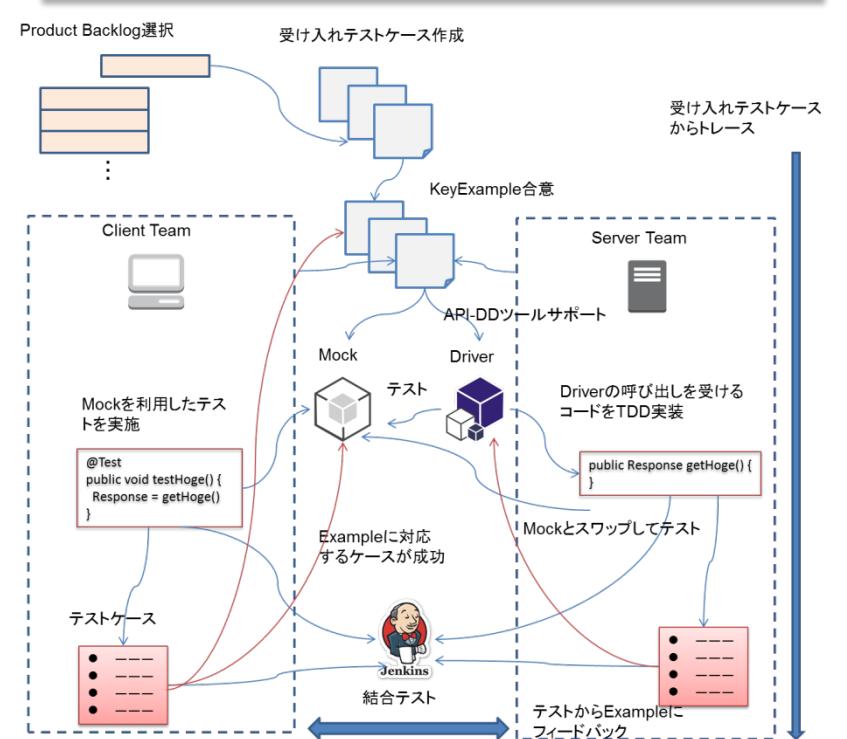
- Example Driven開発
- Tests as Documentation
- 継続的インテグレーション

ゴールを支援する、主要な呼び出しについて誤解の生じない、具体的なExampleをチーム間で合意。Example単位で実装し、早期に結合する。

Exampleからモック、ドライバ、実装をトレースし、テストにより仕様を担保する。

CIにより仕様が継続的に担保されていることを保証。Exampleを「生きたドキュメント」化する。

スクラム開発への適用



受け入れテストから各コンポーネントが実現するExampleを合意し、Example駆動で開発